



真菌医学研究センター Monthly セミナー

平成26年7月22日（火） 16:00～17:30
千葉大学真菌医学研究センター 大会議室

真菌関連疾患から考える真菌と宿主のかかわり
帯広畜産大学 動物・食品検査診断センター 食品リスク分野
講師 豊留 孝仁

人間は様々な真菌といろんな形で関係を構築してきている。人間にとって病原真菌そしてカビ毒産生真菌との関係は「好ましくない関係」といえる。病原真菌は特に免疫抑制下にある宿主にとって生命をも脅かす脅威となる。一方、カビ毒産生真菌は食品をカビ毒で汚染することによって我々の食の安全、さらには生命を脅かしている。

現在、真菌症、特にアスペルギルス症の研究を進めるとともに、カビ毒、特にデオキシニバレノールの宿主に与える影響に関する研究などを開始している。今回は私が進めている研究に関して国内外の状況を示しながら紹介したい。

世話人：笹川千尋（千葉大学真菌医学研究センター長・東京大学名誉教授）
高橋弘喜（千葉大学真菌医学研究センター微生物資源分野）
連絡先：高橋弘喜（E-mail：hiroki.takahashi@chiba-u.jp）